

『時事直言』 No.1598 2023年4月25日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

輝く金は太陽である

金は何時の時代も永遠の価値であり続けてきた。

また何時の時代も、金はその時代の覇権国通貨と一定の交換比率を決めた金本位制を維持してきた。

金は常に通貨の中心的存在であり、金融価値の中核であり続けてきた。

他の資産価値は需要と供給で変動するが、金は需要の如何に関わらず供給量が年 3,000トン前後で常に一定なので金の絶対的価値(比較価値ではない)は不変である。

2022年の金の需要は供給量 3,000トンに対して 4,740トンであった。

需要の約 50%は宝飾や産業用であり、他は資産投資や中央銀行の外貨準備である。

2025年10月 IMF でドルに代わる次期国際基軸通貨と金との交換制が決まり、2026年10月から金本位制が実効に移される。

戦後から今日までのドル覇権体制が終わり、「ドルがモノを言う」から「金(ゴールド)がモノを言う」時代に移る。

その為国際金融支配を目指す独占資本は金の買い占めを続け、日本を除く先進国の中央銀行は外貨準備の金の比率を増やし続けている。

金の現物を安く買う為の大手資本の先物市場での「空売り」以外に金価格が下がる要因はない。

2018年から始まり、今日まで金の手持ちを増やし続けている我が MIDAS ファンド(ゴールドの神様と言われるジム・リカード氏が命名)は 2024 年末に「この世の春」を迎えることになる。

めでたいことである。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.132

『眠れる獅子、日本が浮上する！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 132 は**大好評発売中**です。内容は、*「日米安保は日本の安全の要」と言う大嘘を暴くアメリカ*日本に経済主権はなく、日本はまるでアメリカ用の財布！*アメリカが日本に与えた憲法第 9 条無視の三法改訂を歓迎するアメリカ*戦後一貫として不変のアメリカ対中政治・経済指針*日中は歴史的新時代に向かう*アインシュタインの言葉が蘇る時*日本人だけの特権資産ポートフォリオなどです。

価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。